



## 言葉の力

校長 荒川 比呂美

新しい学年がスタートして2ヶ月が過ぎました。入学した1年生も初めの緊張が解け、少しずつ学校の様子が分かり楽しそうに過ごしています。6年生をはじめ、上級生が優しく声を掛けていた姿はとて微笑ましいです。登校時の一コマですが、8時15分の予鈴が鳴った時、靴箱のところでのんびり上履きに履き替えている1年生を見て、「ランドセル重たいよね。一緒に教室まで行こう。」と、急かすこともなく素敵な言葉を掛けていた6年生がいました。また、休み時間の一コマで、泣いていた1年生に駆け寄って「どうしたの？怪我はない？」と1年生の様子を気遣う言葉掛けをしている3年生がいました。心温まる場面でした。

「言葉が人を育てる」と言われるくらい、私たちが遣っている言葉には大きな力と大切な役割があります。言葉がもつ力とは、言葉ひとつで自分が励まされ楽しい気持ちになるということ、また、人を勇気づけ希望を与えるということ、逆に言葉ひとつで自分が傷つき悲しい気持ちになるということ、また、人の心を壊し苦しめるということです。こう考えると、言葉の力は素晴らしい力ですが、恐ろしい力でもあることが分かります。言葉の遣い方を間違えぬよう、責任をもって発しなければなりません。また、日常生活の中で言葉には、人とのコミュニケーションを図る上で、友好なかかわりや望ましい関係を築いていくという大切な役割があります。人を攻撃したり苦しめたりするものではないことも再確認したいところです。

6月は、「ふれあい（いじめ防止）月間」です。言葉の力について再度子供たちと考え、相手を思いやる優しい言葉、心地よい美しい言葉が自然と交わされるように指導を続けていきます。

子供たちの様子で気になること、心配な変化が見られたことなど、御家庭で気付かれることも多いかと思えます。ぜひ、学校での様子と併せて情報共有し、共に月一っ子たちの成長を見守っていただければ幸いです。

6月の生活目標

時間を大切にしましょう

### 体力、運動能力調査について

体育的行事委員会

体力は、人間の活動においての原点であり健康の維持のほか、意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わっています。子供たちが心身の調和的な発達を図るために、運動を通して体力を養うとともに望ましい生活習慣を身に付けることや、健康的な生活習慣を形成するために、子供の頃から体力の向上や健康の保持を図ることは大切となってきます。

体力調査では、8つの種目を行います。動きの特性としては「すばやさ」「動きを持続する能力(粘り強さ)」「タイミングのよさ」「力強さ」「体の柔らかさ」の5つに整理することができます。

生活・運動習慣等調査では、子供たちの運動習慣や生活習慣を把握し、学校や家庭における体育・健康等に関する生活改善に役立てていく目的としています。

### セカンドスクールについて

第4学年担当

4年生は、6月8日から10日にかけて柏学園でのセカンドスクールを行います。今年度からは、感染防止を十分に図った上で、実施できることになりました。

さて、4年生にとっては小学校に入り、初めての宿泊学習になります。オリエンテーリング、ネイチャーゲーム、カレー作り、サイクリングなどの活動を通し、普段できない自然とのふれあいの場になると思います。また、宿泊を通して、友達との適切な関わり方や、絆を深められる機会にもなることでしょう。

親元を離れた3日間是不安も多いことだろうと思いますが、セカンドスクールを通して大きく成長する場になると期待しています。ご家庭での事前準備もありますが、御協力のほど、よろしく願いいたします。

